

第6号

発行日 平成18年3月6日
発行者 〒036-8561 弘前市文京町3
理工学部同樹会(理工学部内)
題字 同樹会長 千葉 信行
印刷所 株 笹 軽 印 刷

理工学部同樹会報



北條 俊 哉

「個人情報漏洩」

北條 俊 哉
(平成七年情報科学科卒業)

弘前大学理工学部の情報科学科を平成七年に卒業し、同年、現在東北NSソリューションズ株式会社に就職しました。当社は新日本製鐵株式会社(以下、新日鉄)の情報部門が独立し設立された会社です。設立当時は、新日鉄向けの仕事の割合が高かったですが、現在は、メーカー、金融、製造業等の一般ユーザーに対してソリューションを提供する割合が高くなっています。尚、ここで述べているソリューションとは、業務上の問題点の解決や要求の実現を行なうための情報システムの提供を指しています。

話は変わりますが、今回執筆をする事になった経緯を述べますと、弊社のリクルート活動の一環として、弘前大学を訪問するにあたり、同窓生でもある一條健司先生と昔話を兼ねながらお世話になっていました。私自身、卒業時に記載した学園だより以来で、このほど久しぶりというところもあり快く引き受けた次第です。テーマについてですが、過去に執筆いただいた諸先輩方には、違い、経験も知見も少ない私としては、実際に経験した就職活動、会社の一員としてのリクルート活動等いろいろと考えましたが、やはり、ITの最先端でシステムを構築している一人として、ITに全く関連しない話と外せず、また、皆様もいろいろと興味を

持たれているだろうテーマとして、昨今騒がれてきた個人情報保護法に関して簡単に話をしてみたいと思います。個人情報の政令(法律施行令)では、個人情報取扱事業者から除外される者として、その事業の用に供する個人情報データベース等を構成する特定の個人の数字等を識別される特定の個人の数字の中略の合計が過去六月以内のいずれの日においても五千を超えない者とする。と記載されています。しかしながら、実際には、企業において個人情報漏洩に伴う信用問題から上記あたりながらも、厳密に取り扱おうという方針を立てている企業が多くあります。事実、個人情報漏洩に伴い、調査や釈明、場合によっては、補償問題に発展したりと企業の信用を失墜させるというリスクを起すことになり、個人情報漏洩の対策の一つとしてシステムの対応策があり、詳しく述べませんが、悪意を持ってユーザへの対応としてデータの暗号化、通信経路の暗号化、ログイン制限やアクセス制限、アクセスログの取得等、それぞれの箇所(N/W、H/W、S/W等)でいろいろと行います。また、クライアントPCの機能制限、PCのDiskの暗号化、Thinクライアントの導入等

ご承知の通り、平成十七年の四月一日より、個人情報の保護に関する法律が全面施行されました。IT(情報技術)社会の進展に伴い個人情報の漏洩による被害の問題が表面化する中、同樹会では法律の全面施行に先立ち、平成十五年から会員名簿の発行を取り止めるなど、会員各位の個人情報保護に十分配慮して参りました。そしてまた法律の全面施行に伴い、これまで以上に個人情報の保護に配慮し、かつ法に基づき個人情報保護を進める所存でございます。その一方で、同樹会はその趣旨を図ることを目的としております。この趣旨と個人情報保護とは、ある意味において相反する事柄であり、両立することの難しい面がございます。法の遵守を徹底しながら、同樹会の趣旨をどのように具体化していかざるを得ない状況にございます。不便をお掛けすることがあるかと存じますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

理工学部同樹会に
おける個人情報の
取り扱いについて



理工学部学科改組

弘前大学理工学部は、平成十四年四月に第一期生を受け入れてから丸八年となりました。その間に、国立大学の法人化、少子化問題、学力低下、理系離れ、環境と調和・共生してゆける科学技術への取り組み、またそれを支える人材の育成など、弘前大学理工学部を取り巻く状況や担う使命は、刻々と変化して参りました。そのような変化に対応すべく、弘前大学理工学部は平成十八年四月から、現在の五学科体制(数理システム科学科、物質理工科学科、地球環境科学科、電子情報システム工科学科、機械システム工科学科)から六学科新体制(数理科学科、物理科学科、物質創成化学科、地球環境科学科、電子情報工科学科、知能機械工科学科)へと学科改組を行うこととなりました。

新体制の基本構想は次の二点です。

- 一、専門基礎を教育し易い体制を整え、各学科に関連する分野の基礎知識を持つ人材を育てる。
- 二、既成の学問体系及び高等学校の教科名に合致し易いよう、学科名称並びに教育体制を整える。
- 三、またカリキュラムの特色として、学部三年間は基礎学力を重視した教育を行い、学部四年と大学院二年間を専門教育に当てる。
- 四、三、二、一、教育理念と具体的教育達成目標を設定する。
- 五、演習時間の設定、副担当教官導入を行う。

平成十六年度 理工学部卒業・理工学研究科修了 祝賀会

努力、そして理工学部に在籍する学生諸君の熱心なご尽力の賜物と存じます。しかし好調な就職率は、祝賀会への参加率が向上しております。その原因は、同樹会終身会費一万円が未納でないことを、祝賀会の数日前に

去る平成十七年三月二十三日、例年通り大広間に階大間に卒業・理工学研究科修了祝賀会が開催されました。弘前大学に旅立つ諸君を祝う会は、ここ数年好調で、他学部と比較して高い水準を維持しております。同樹会として喜びを、お祝い申し上げます。また、卒業生が就職し、社会に活躍する姿を、祝賀会では、同樹会が主催する「卒業生同窓会」を開催し、同窓生との交流を図ります。また、卒業生が就職し、社会に活躍する姿を、祝賀会では、同樹会が主催する「卒業生同窓会」を開催し、同窓生との交流を図ります。

五、学生に興味を持たせる科目を導入する。

六、科学英語を身につける科目を掲げます。

すなわち、専門の学問領域における基礎をしっかりと教育し、目まぐるしく様相を変える現代社会の中で、基礎学力の上で立脚した柔軟性、創造力を発揮できる人材の育成を目指します。会員各位におかれましては、新しい理工学部で学ぶ若い会員の巣立ちにご期待下さい。

は当日に知り、祝賀会参加費が一万円という高額なものであると錯覚してしまうことにあるようです。現在このような状況を解消する策の検討を進めており、次回祝賀会の参加状況を注視して参る所存です。

なお今回は平成十六年四月に発足しました理工学部後援会との共催という形で開催となりました。ご協力頂いた後援会関係各位に感謝申し上げる次第です。



数理システム科学科



地球環境学科



電子情報システム工科学科



知能機械システム工科学科



物質理工科学科



平成17年度弘前大学理工学部同樹会収支予算書

平成17年4月1日現在

収入の部

Table with 3 columns: 項目 (Item), 金額 (Amount), 摘要 (Remarks). Includes items like 会費 (Membership Fee) and 前年度繰越収支差額 (Carry-over from previous year).

支出の部

Table with 3 columns: 項目 (Item), 金額 (Amount), 摘要 (Remarks). Includes items like 弘前大学同窓会費 (Hiroshima University Alumni Association Fee) and 会務費 (Association Expenses).

弘前大学理工学部同樹会加入者一覧

(同樹会報第5号からの続きです)

- List of members including names and graduation years, such as 亀谷 博 (工学部生物学科 4年在籍) and 赤石 拓詩 (理学部数学科 H4年3月卒).

(以下は次号に掲載致します)

編集後記

当平十七年度より、事務局長の一人として、ご協力をお願いいたします。ご意見をお寄せください。

事務局

弘前大学理工学部 一條 健司
住所: 〒030-8565 弘前市文京町三丁目1-1-1
TEL: 019-231-3379
E-mail: ken@si.hirosaki-u.ac.jp